

令和5年度 四国支所公開講演会

林業座談会「使う、植える、育てる－持続する林業を目指して－」 実施報告

四国支所では、研究成果等の広報・普及を目的として毎年公開講演会を開催しております。

今年度は、林業座談会と銘打ち、森林資源の循環利用の流れ「使う、植える、育てる」に沿って、大径材の利用を促進するための最新技術、再生林を進める上で障害となっているシカ対策、下刈り・除伐・間伐といった初期保育のコスト削減策について、四国支所研究員から最近の研究成果をもとに話題提供を行いました。

行政機関、森林組合、関係法人の方から高校生まで、幅広い方々にご参加いただき、限られた時間の中ではありますが、各々のお立場から、提供話題へのご質問のみならず問題提起、現場の状況等のご発言をいただき、議論することができました。

ご来場いただいた皆様のお力添えに感謝申し上げます。

1. 話題提供

「大径材の使い方 －川中の取り組み－」

伊神 裕司(森林総合研究所四国支所産学官民連携推進調整監)

「再生林地におけるシカ対策 －防護柵の効果的な運用－」

大谷 達也(森林総合研究所四国支所森林生態系変動研究グループ)

「手入れを省いた山はどうなる？ －下刈り・除伐・間伐を事例に－」

福本 桂子(森林総合研究所四国支所流域森林保全研究グループ)

総合討論 進行役 岡 輝樹(森林総合研究所四国支所長)

2. 開催日 令和5年9月21日(木)

3. 開催場所 高知会館(高知市)

4. 参加人数 106名

